

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-522849 (P2004-522849A)

【公表日】平成 16 年 7 月 29 日 (2004.7.29)

【年通号数】公開・登録公報 2004-029

【出願番号】特願 2002-573824 (P2002-573824)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 F 4/646

C 0 8 F 10/00

【F I】

C 0 8 F 4/646

C 0 8 F 10/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 23 日 (2005.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) マグネシウム、ハロゲン；エーテル、エステルまたはアミンから選択される電子供与体、および  $Ti^{(red)} / Ti_{(tot)}$  の間の重量パーセント比 ( $Ti^{(red)}$  が 4 より小さな原子価を有するチタン原子の固体触媒成分に対する重量パーセントであり、かつ  $Ti_{(tot)}$  が全チタン原子の固体触媒成分に対する重量パーセントである) が、約 0.05 から約 1 の範囲であるような酸化状態にあるチタン原子から構成される固体触媒成分と、(B) Al - アルキル化合物とから構成される触媒系の存在下に行われる、任意にオレフィン  $CH_2 = CHR$  (式中、R は水素または 1 ~ 12 の炭素原子を有するヒドロカルビル基である) との混合物でのエチレンの重合方法。

【請求項 2】

電子供与化合物が、フタル酸のアルキルエステルから選択される請求項 1 による方法。

【請求項 3】

触媒成分 (B) が、トリアルキルアルミニウム化合物である請求項 1 による方法。

【請求項 4】

80% より高いエチレンから誘導されたユニットのモル含有量を有し、かつ 0.8 より高い、キシレンに可溶の画分の固有粘度と全ポリマーの固有粘度との間の比率により特徴付けられる、エチレンと 3 から 12 の炭素原子を有する 1 つまたはそれ以上のアルファ - オレフィンとのコポリマー。